

あなたもお読みください
 真実つたえ希望はこぶ
 しんぶん 赤旗
 日刊 1カ月 3,497円
 日曜版1カ月 823円

手良民報

生活相談はお気軽に
 電話 78-0943 (高橋)
 08051428896 (大場美広)
 (毎月赤旗読者に配達)
 (民報のみは月100円)
 発行 日本共産党・手良支部

総代会解散

農業集落排水 (下水道) 維持管理組合

手良地区農業集落排水 (下水道) 維持管理組合 (小林千恵組合長) の総代会は3月21日に「やまき」で行われました。

26年度の事業と会計の報告が行われ、事業では年3回の役員による「清流の里公園」管理作業、総代会研修の終末処理場見学会などの報告がありました。

当日の大きな議題は総代会解散についてでしたが原案通り承認されました。

維持管理組合は平成17年11月1日に発足してから10年目になりますが今の事業は役員による「清流の里公園」の管理作業

よしひろ通信 ⑭

何度でも、何度でも

「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し…」(日本国憲法前文より)「この一文が盛んに頭をよみます。」

先日、「私の中の戦争」著者たちの『八月十五日』というNHKのテレビ番組を見ました。

同様のタイトルで作られた本の出版社に、体験談を寄せられた医師の日野原重

明さんや、漫画家のちほつやさん、花村えい子さんなど何人かのインタビューで、それぞれ戦争中の体験や思いが語られ、俳優の高倉健さんから亡くなる三ヶ月ほど前に寄せられた文と肉声の録音も紹介されました。

「戦争は、ある日突然にやって来るものではない。じわり、じわりとやって来て、気がつくときには戻れない…」という話をされていました。本当にそうだと思います。そして今が、その「じわり、

じわり」の時だと。自民・公明両党による安倍内閣が、いよいよ自衛隊を海外に派兵し、何時でも、何処でもアメリカ軍と共に戦争が出来るようにする「戦争法案」の国会への提出準備を急ピッチで進めています。

前号で取り上げた第九条を含め、憲法で何が決められているかがおかまいなし、なりのかまわぬ暴走です。中国や、北朝鮮、I・S (アイ・エス) などテロの脅威も在るでしょう。しかし、いかなる事態が起ころうとも、軍事力で問題が解決することは絶対ありません。「やられたら、やり返す」戦争、「やられる前にやる」戦争、自分で仕掛けておいて「やられた」と言っ

て始めた戦争も在りました。互いに沢山の人の命が奪われ、傷つき、町も自然も破壊されるのが戦争。始めてはならないのです。戦後七十年、世界がもつと危うい時も、日本は軍事力に訴えずにやって来たではないですか。「二国平和主義」はもう許されないというのであれ

子どもの安全見守り隊の紹介式

手良小学校の「子ども安全見守り隊」の紹介式が4月15日の午前中に小学校であり見守り隊員16名が参加しました。現在見守り隊員は約50名が登録されています。



紹介式

見守り隊は子ども達が毎日元気で安心して登下校することが出来るよう、登下校時の見守りと、何かあった時に対応出来るよう「子どもを守る安心の家」の表示板を自宅に取り付けています。式では隊長の蟹澤博行区長会長、副隊長の

宮原拓也PTA会長、矢澤遠馬児童会長、学校長よりの感謝とお願いのあいさつがありました。全体会の後、4地区に分かれて児童への紹介がありました。学校長との懇談では子どもの目線で危険な箇所を指摘してほしいなどの意見がありました。

手良小学校

4月6日に「手良9条の会」の役員会が行われました。経過報告では「美篤戦争体験を聞く会」への参加、9条の会伊那市連絡会事務局会議への出席、「手良9条の会ニュース」第8号の発行、映画「望郷の鐘」実行委員会への出席、伊那市平和のための市民会議発足、「集団的自衛権行使容認」の議会請願などが報告されました。会員は現在104名。

議題では①憲法9条を守る県民過半数署名 ②「手良9条の会」のぼり作成 ③総会と会員懇親会開催 ④「原発と憲法を考える憲法記念日の集い・講演会」参加 ⑤映画「望郷の鐘」上映などについて協議しま

手良地区農業集落排水 (下水道) 維持管理組合が10年目を迎えて大きく変わる。各常会から選出されていた総代を解散した▼平成13年4月27日に手良地区農業集落排水事業建設組合が発足し下水道の建設をすすめてきた。平成16年3月に完成し3月25日に通水式が行われた。役員は皆さんを中心に地域の多くの皆さんの協力で完成された▼清流公園に建立の碑が立っている。一般にはそれに建設に係わった役員の名前が刻まれているのが普通であるが手良の碑にはそれが無い。この事業は役員は皆さんは勿論であるが多くの皆さんの協力があったこと、その時の役員のみなさんの思いもあって個人の名前は刻まれていない。この精神を私たちは受け継いでいかなければならない▼建設組合は平成17年10月31日に解散し、平成17年11月1日に農業集落排水管理組合が発足し今日に至っている。管理組合は今後は5名の役員の皆さんが主として「清流の里公園」の管理作業を行っていく。公園の樹も大きくなり管理が大変であり苦勞様である。清流公園の名前は一般の公募が決まった。今は公園へ行く人も少ないようであるが、せつかくの記念の公園であるので多くの人に活用してもらいたいと思う。(T)



大場美広

大掛かりな 有害鳥獣の駆除

猟友会による有害鳥獣の駆除が伊那の他支部の応援も得て4月12日の午前中、参加者60人により行われました。野口八幡社の上から沢岡にかけて勢子が大声をあげて鳥獣を追い出し、それを散弾銃などで狙撃します。

当日は予想に反して鹿雄2頭、雌1頭のみの捕獲でした。捕獲した鹿は早速、野生獣肉解体処理施設「伊那シジエ手良」で解体処理されました。なお、大掛かりな駆除は手良では昨年に続いて2回目となります。

手良全域下の288句 井上井月を偲ぶ句会

手良公民館と「井上井月を偲ぶ句会」共催による第16

生活雑記

133

深刻だね

小松和江

もうすぐ日本では認知症になる人が八百万人の時代が必ずやってくる。

認知症はたいへんだ、家族が大変なことになると、新聞や雑誌、テレビの宣伝はすべて手に入ります。

確かに老後の不安は山積している。そんな不安心を揺るがせる健康食品のすごさ

回「井上井月を偲ぶ句会」は3月25日の午後、中坪公民館で行われ6名が参加しました。

その日までに手良全域下の288句の俳句が集まりました。春日愚良子さん（元有線暮らしの文芸俳句選者）より句会一つ一つについて懇切丁寧に指導がありました。

なお春日愚良子さんの意向で俳句はそれぞれ個性があり優秀は付けがたいということも順位も付けず表彰もしないことになりました。春日愚良子さんを囲んでの懇親会には6名が参加し、いろいろの話が出て、和やかに懇談しました。

句会にはケーブルテレビで放映され、伊那有線放送でも放送されました。また、にびっくりしたり、もしや本当に効くかもしれない一度試してみるかなあ、そんな気持ちにさせられる。祖母の時代には「社日参り」という日があったし、最近までは「ボックリ参り」という行事もあって、我が家ではそれ程深刻に思わずになんとなく暮らしてきたよつな気がする。

しかし、自分の事になると深刻だ、もし認知症になったらどうする、どうしたら良いのかって即答できるよ



句会

今年もきれいに咲きました 八ツ手中部山際道路

八ツ手の長命水へ行く山際の道路約1000mに今年も桜とレンギョウがきれいに咲きました。



花道路

11年）4月に中部常会の皆さんが植樹したもので道路西側に桜21本、黄色い花のレンギョウ28本が植えられています。

さくら植樹記念に「桜咲き棚田の水も温む里 小松利江」の句碑と小松修一さ

んによる建立の碑が建っています。

ここからは残雪のある中央アルプスも美しく展望できます。

遺族会総会が行われる

手良遺族会（城倉幹夫会長）の総会が4月23日の午後手良公民館で行われ会員12名が参加しました。

手良では戦後約126柱、その家族は90戸です。会員は現在33名ですが高齢化などにより会員が減少しているため、都口で会を止めた人など33名からも会の運営経費として協力費をお願いしています。

会議の中では会員より、10年間の特別申慰金が本年で支給が終わり、近く次回支給の説明会が行われるようであるが、受給の資格のある会員が漏れないように徹底してほしい、映画「望郷の鐘」は残留孤児の問題や戦争の悲惨などを描いており遺族会ともつながりがあるので是非観て欲しいなどの意見がありました。

中坪公民館で絵手紙教室やっています



酒井要子

連絡先 高橋 7810943

JA「年金友の会」 支部総会

JA上伊那年金友の会美簗手良支部の総会が4月21日手良支所で行われました。

当日予定していた親善マレットゴルフ大会は雨のため中止となりました。

年金友の会の会員は上伊那全体では2,775人ですが手良では513人が加入しています。

総会には51名（手良19名）が参加しました。

あいさつでは支部長より振り込め詐欺に注意をなどの話がありました。また支所長よりのあいさつではPPPは大詰めを迎えている

がJAは組織をあげて反対運動を行っていること、農業情勢は不安定であるが地域で活発に活動し地域の活性化につなげて欲しいとのあいさつがありました。

事業報告や計画の内容については親睦マレットゴルフ大会、親睦旅行が協議されました。

ちなみに、JA上伊那の昨年の年金の取り扱い金額は約237億円、農畜産物の販売取扱高の138億円を大きく超えているそうです。

春の歌を唄う会 野口高齢者クラブ

野口高齢者クラブは3月12日に野口公民館で「春の歌を唄う会」を行い30名が参加しました。

柵沢の後藤二郎さんの「ハーモニカの伴奏で春の歌をみんなが歌いました。

また、北原温子さん、向山明美さんが踊りをお楽しみしました。

その後は食事会を楽しく過ごしました。

最後はみんなで「北国の春」を歌って散会となりました。

（おねがい）

身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思えます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。

七八一〇九四三 高橋

